

# 令和8年度 課の運営方針書

消防本部 警防課

## 1 課の運営方針

### 【課の使命】

消防、救助、救急及び消防団に関する業務を統括し、各種災害から市民の生命、身体、財産を守るために必要な施策を実施することで、市民の安全・安心を確保します。

### 【課の目標】 令和8年度に重点的に取り組む事項・概要

- ① 高規格救急自動車の更新、指導救命士の養成、そして、医師同乗システム・救急ワークステーション(以下「救急WS」という。)方式による救急隊員の教育を行うことで、救急業務の高度化に取り組みます。
- ② 消防用ドローン操縦者を養成するとともに、各種消防・救助訓練を企画運営することで、大規模・多様化する災害への対応能力の向上を図ります。
- ③ 消防団事務を実施することで、消防団と常備消防との連携を円滑に行うとともに、学生消防団の拡充や女性消防団の活性化に取り組み、「消防団の力向上」を推進します。
- ④ 災害時に連携が必要不可欠となる消防団、防災関係機関、他市消防本部等との合同訓練により、警防体制の充実強化を図ります。
- ⑤ 消防水利(消火栓・防火水槽等)の整備及び維持保全に努めます。

### 【行政経営への取組】

救急支援、指揮支援、マイナ救急タブレットを活用し、警防活動及び警防事務時のDX化を図り、紙の削減と業務負担の軽減に努めます。

## 2 担当(係)の使命(果たす役割)

(消防救助担当) 消防用ドローン操縦者の養成、消防・救助に関する研修・訓練の企画・運営、防災関係機関やコンビナート事業所等との合同訓練を企画するなど、消防・救助能力の向上と関係機関の連携強化を図ります。また、消防水利の整備と維持保全に努めます。

(救急担当) 救急車両や資器材の更新、指導救命士養成による人材育成、救急WSによる救急救命士等の生涯教育体制の確保を推進し、救急業務の高度化に取り組みます。また、周南地域メディカルコントロール協議会を通じて医療機関と連携し、救急業務の質の向上を図り、市民の安全・安心に努めます。

(消防団担当) 消防団の人事管理をはじめとした各種消防団事務を行い、消防団への入団促進と活性化、そして円滑な消防団活動を推進します。

## 3 課の経営資源

### (1) 課の体制

職員数	13 人	うち	正職員	12 人	・	会計年度 任用職員	1 人	人件費	正職員	90,036 千円	会計年度 任用職員	千円
-----	------	----	-----	------	---	--------------	-----	-----	-----	-----------	--------------	----

※R6職員平均給与( 7,503 千円)ベース

※予算計上額

### (2) 事業規模

歳入予算額	96,354 千円	歳出予算額	212,628 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	5 事業
-------	-----------	-------	------------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順） 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

推進施策別 優先順位	推進施策	令和11年度までに実現したい成果
1	5 防災・安全 2 消防・救急体制の充実 2 救急救助業務の充実	○病院実習(救急WS)により、救急救命士を含む救急隊員の生涯教育と、救急業務の高度化を推進します。 ○指導救命士、気管挿管及びビデオ喉頭鏡認定救命士の養成を行い、救急業務の質の向上を図ります。 ○救助研修会や訓練を企画・運営し、救助技術の向上及び人材の育成に努めます。
2	5 防災・安全 2 消防・救急体制の充実 1 消防力の充実	○消防用ドローン操縦者を養成するとともに、消防・救助の各種訓練等を企画・運営し、大規模・多様化する災害への初動体制の確立と情報収集能力の強化を図ります。 ○災害時に連携が必要不可欠となる消防団、防災関係機関、コンビナート事業所及び他市消防本部との合同訓練により、警防体制の充実強化を図ります。 ○学生消防団員の充実を図り、消防団員の確保と消防団活動の活性化を推進します。